

|   |  |  |   |   |
|---|--|--|---|---|
| <b>育成したい生徒像</b><br>①主体性 ②思考力・判断力 ③傾聴力・共感力 ④自己肯定感<br>⑤コミュニケーション力 ⑥創造力 ⑦豊かな情操<br>を身に付けた生徒   |  | <b>目指す学校像</b><br>進路志望を実現できる<br>生徒の学ぶ意欲を喚起できる<br>生徒が心に喜びを抱ける学校  |   |   |
| <b>校訓</b><br>「自律」<br>「自啓」   | <b>学校教育目標</b><br>たくましい身体と豊かな心を育てる<br>高い知性と強い意志を育てる | <b>経営方針</b><br>(1)「信頼される学校づくり」…「教育の見える化」を推進し、教育活動の目的と目標を明確化するとともに、学校広報活動を積極的に行うなど、開かれた学校づくりを進める。<br>(2)「組織運営の活性化」…個の気づきを共有し、「働き方改革」に繋げるとともに、共通理解のもと、組織運営の協働及び改善を進め、各組織の機能体としての活性化を図る。<br>(3)「資質能力の向上」…教育公務員としての自覚と服務規律の厳正な遵守のもと、授業力・生徒指導力・保護者等対応力の向上を図るとともに、「新たな研修制度」による研修の実践、校外研修への積極的な参加と校内への還元を進める。 |   |   |
| <b>重点目標</b><br>(1)「個の気づきの共有」…日常の些細な会話を大切にし、個々の教職員の気づきの共有による業務改善と業務内容の平準化の推進<br>(2)「業務内容の精査推進」…あんしんメール、クラウドの活用促進（印刷物の削減、業務の効率化）、部活動、休日等業務の改善<br>(3)「新学習指導要領、ICT等の活用」…観点別評価の充実による、指導の改善と学習意欲の向上、ICT等活用による授業改善等の推進と質の向上、関係機関等との連携を図った「総合的な探究の時間」の実践<br>(4)「教育活動の地域への積極的な情報発信」…地域向け学校だより「西陵の疾風」の発行とHPコンテンツの充実・更新を推進 |  |  |   |   |
|   | <b>領域</b>  | <b>中期目標</b>  | <b>今年度の目標</b>   | <b>目標達成のための評価の観点</b>  |
| <b>教育活動</b>   | <b>学習指導</b>  | <b>社会で活用できる資質・能力の育成</b>  | 1 落ち着いて意欲的に授業に取り組むことができる学習環境づくり<br>2 主体的に学び、読解力を高め、思考できる生徒の育成<br>3 観点別評価の充実とICT等活用による授業改善<br>4 業務の明確化と計画的・組織的な業務の推進   | ① 生徒に授業規律の徹底が図られたか。<br>② 教員間で授業や考査でのマナーやルール、教務に関する業務の日程・手順などが共有化されていたか。<br>③ 授業研究・校内研修が積極的に行われたか。<br>④ 図書館やICT等が積極的に活用されているか。<br>⑤ 業務に対する共通理解が図られ、組織的に機能していたか。  |
|   | <b>生徒指導</b>  | <b>社会的資質と行動力の育成</b>  | 1 学習・進路活動の土台となる基本的な生活習慣の確立<br>2 規範性の涵養を図る効果的な指導方法・指導体制の構築<br>3 問題行動の未然防止のため、学年団・関係機関との連携強化<br>4 目的意識を持ち、自ら考え行動できる生徒会活動の推進<br>5 生徒会・学級・部活動を通して、主体的活動ができる生徒の育成<br>6 ボランティア活動等を通じた地域との交流 | ① 全教職員の協力のもと、目標・課題が達成できたか。<br>② 各取組みが計画的、継続的に行なわれたか。<br>③ 特別指導件数、身だしなみ指導対象者、遅刻者数、交通事故件数、苦情数が減少したか。<br>④ 問題点や課題を見つけ、解決に導くことができたか。<br>⑤ 生徒会執行部員が目的意識を持って活動できたか。<br>⑥ 代議員会・各常任委員会等の活動が活性化したか。<br>⑦ ボランティア活動等が活発化し、地域との交流ができたか。   |
|   | <b>進路指導</b>  | <b>社会的・職業的自立に向けた能力と態度の育成</b>   | 1 「One-upプロジェクト」定着のため、「One-up One-action One-change」をベースとした進路行事、外部と連携した総合的な探究の時間の充実による、進路意識の高い生徒数の拡充<br>2 3年間を見通した計画に基づき、各学年や関係分掌との連携による、個々の生徒の進路実現の推進                                | ① 「One-upプロジェクト」のもと、学年間や分掌との連携のもとに指導が効果的かつ系統的なものになっていたか。<br>② 生徒個々の進路目標に対応した進路指導や運営がなされたか。<br>③ 進路意識の高い生徒層を増やし、伸長させることができたか。<br>④ 外部と連携した「総合的な探究の時間」の計画・実施ができたか。<br>⑤ 各学年の実態に合わせた指導の研究や有効な情報提供、企画運営ができたか。   |
|   | <b>健康安全指導</b>                                      | <b>健康増進と自己管理意識の向上</b>  | 1 生命を尊重し、自ら心身の健康づくりに取り組むことができる生徒育成のための健康・安全教育の充実<br>2 各種検査等を活用し、豊かな心で活気に満ちた生活を営むことができる生徒を育成するための教育相談体制の充実<br>3 教育環境の整備に向けた効果的な計画・実施<br>4 生徒の美化意識の高揚による校内美化の推進                         | ① 健康診断等を円滑に行い、諸検査等の結果を効果的に活用することができたか。<br>② 分掌・学年・関係機関等との連携により生徒理解が適切にできたか。<br>③ 保健だより等を用いた保健指導や情報提供を行うことができたか。<br>④ Hyper-QI等を活用し、日常的に充実した教育相談がなされたか。<br>⑤ 教育相談に関して教職員、保護者等への情報提供や啓発ができたか。<br>⑥ 校舎内外の清掃状況とゴミの分別状況は向上したか。<br>⑦ 清掃・美化に関する生徒の意識は高められたか。<br>⑧ 計画的な美化・保健委員会の活動がなされたか。 |
| <b>学校経営</b>   | <b>信頼される学校づくり</b>                                  | <b>開かれた学校づくり</b>   | 1 「教育の見える化」の積極的な推進<br>2 教育活動の目的と目標の明確化<br>3 学校広報活動の積極的な取組   | ① 学校HP、中学校訪問、体験入学、地域行事への参加、各種通信等を通して情報発信ができたか。<br>② 目的と目標を明確にした教育活動を実践できたか。<br>③ 多様な側面からアプローチするなど学校広報活動の工夫・改善ができたか。   |
|   | <b>組織運営</b>  | <b>各組織の機能体としての活性化</b>  | 1 分掌主導による組織運営の推進と、共通理解に基づく協働及び改善の推進<br>2 「働き方改革」推進のための学校運営の効率化  | ① 定期的な分掌・学年・教科会議で教育内容の共通理解を図り、PDCAサイクルを確立できたか<br>② 「個の気づきの発信」を分掌・学年会議、部長主任会議で共有・協議し、学校運営の効率化と時間外勤務の縮減に繋げることができたか。<br>③ 職員相互に相談、支援できる社会的人間関係を構築できたか。   |
|   | <b>資質向上</b>  | <b>生徒の成長を促すことのできる職能成長</b>  | 1 教育公務員としての自覚と服務規律の厳正な遵守<br>2 授業力・生徒指導力・保護者等対応力の向上<br>3 「新たな研修制度」による研修の実践   | ① 教育公務員として自覚ある行動をとることができたか。<br>② 相互啓発し、授業力・生徒指導力の向上を図ることができたか。<br>③ 各分掌主催による校内研修を実施できたか。<br>④ 日常的教育実践や自己研鑽を進め、教員同士の学び合いができたか。   |